

## 議事録

1. 件名：「令和元年度 衝撃荷重に対する機器耐力試験」に係る打合せ
2. 日時： 令和元年 11 月 14 日(木) 13:30～14:50
3. 場所： 原子力規制庁 16階 会議室
4. 出席者： 原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
日比野統括技術研究調査官、石田技術計画専門職、東技術研究調査官、田岡技術研究調査官  
  
東芝エネルギーシステムズ株式会社  
原子力事業統括部 原子力プラント設計部 参事 他 4 名
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、安全上重要な機器の衝撃荷重に対する耐力を適切に評価する手法を検討するための安全研究を平成29年度から令和2年度にかけて計画し、実施している。  
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和元年度 衝撃荷重に対する機器耐力試験」事業を実施している。  
本打合せでは、当事業に係る第4回打合せを実施した。  
試験対象電気品(高圧接地形計器用変圧器)に係る衝撃耐力試験実施要領(評価部位、評価基準、試験順序、入力加速度、加振方向等)について前回打合せ時からの改訂内容の詳細、及び試験体と試験に関連する付属品の準備状況を確認した。また、12月に実施予定の試験のスケジュール(日割り工程)を確認した。今後、今回の確認結果に基づいて東芝エネルギーシステムズ株式会社にて試験実施要領の最終版を確定して試験を実施することとした。
6. その他  
なし